

24th 福岡デザインアワード

# FUKUOKA DESIGN AWARD 2022



受賞商品集

# GOOD DESIGN IS

／ ブレイクのヒラメキが  
／ ところにある！

福岡デザインアワード（FDA）は、1999年に創設され「ものづくりにデザインの力を！」をテーマに、優れたデザインを評価、発信するコンペティションです。FDAで求められているのは「持続可能なモノ・コトづくり」。

美しい、カッコいいだけでなく、確かな技術力や機能性、受け継がれてきた伝統を明日に伝える強いコンセプト、自然や地域社会との共生のために適量で適切な生産。

それらの要素をうまくまとめ、デザインが一体となったものが、これからのビジネスに必要な「ソーシャルグッドな商品」です。

皆さんがそれぞれのアイデアや理想を共有することで、自社商品を見直すきっかけを作り、そこから生まれた新たなヒラメキが、皆さんのビジネスに活力を与え、地域の未来も明るくする。そういう場を目指しています。



# GOOD BUSINESS



# 大賞

△-  
mu

SEA you again プロジェクト

Design: HOMEBASE  
伊藤 敬生

## プラゴミを資源に変えた 価値逆転の美しいデザイン

両手に馴染む形は非常に心地良く、  
ずっと触っていたくなる石けんケースだ。  
人のために生まれ、役割を果たしたあ  
とに廃棄され対馬海流にのって五島列  
島の小値賀島に漂着し、海洋プラゴミ  
と呼ばれるようになったプラスチックを



「資源」として蘇らせたデザインである。透明感のある白地に、さまざまな色が浮き出し、美しい模様を作り出す。それは世界に二つとない偶然のパターンだ。手に収まる形は小値賀島の海岸にある石から型取りをした自然の形。長い年月をかけて海の中を転がり波に削られて角が丸くなって海岸にたどり着いた無数の石の中から人が拾い上げたひとつの形。海洋プラゴミと迷惑がられ、社会問題化している存在が、手の中に気持ちよく収まる形と世界にひとつの個性、そして物語を与えられた瞬間に、単なるリサイクルやアップサイクルを超えた価値を持つ。石けんケースだけで海洋プラゴミの問題が解決するわけではないが、人の意識を変え、モノを愛おしいと思う心に働きかけ、共感を呼び起こし、ゴミを本来の意味で資源に転換した見事なデザインだ。イソップ寓話の「北風と太陽」の太陽のアプローチによるデザインは人の輪を広げ、一歩ずつ、しかし確実に課題解決への距離を縮めていく力を持つようだ。



mu

¥3,850

シャボン玉無添加石けん入り

おちかアイランドツーリズム

<https://ojikajima.jp>

九州大学 池田美奈子



幼かったあの頃、砂浜は宝箱だった。  
見たこともないデザインの缶や箱。  
書かれていた不思議な文字。

大きくなるうちに「ごみ」へと変わっていった。  
でも、本当にそうなのか。

この石けんケースに問いかけられた。  
寄せては返す波のように、考えが揺らいでいる。

本質的な問題は、  
捨てる人間の側に。

海が美しい小値賀島の中でも、白砂のビーチと海の色が  
コントラストをつくり、互いを  
引き立てあっている。





白浜海岸では、定期的に清掃活動が行われている。それでも、砂浜への漂着物はなくなることはない。取材時に伊藤さんが散策している間にもこうして、いくつもの海洋プラスチックが回収された。

### ごみという言葉を無くしたい

石けんケース「mi」は、長崎県五島列島の小値賀島に流れ着いた「ごみ」が生まれ変わった姿だ。

もともとは海岸に漂着した海洋プラスチックである。「ごみ」として扱われ、処分するにも大きな手間とコストがかかる厄介者だった。

四方を海に囲まれた島では、どれだけ回収してもキリがない。島にとって頭の痛い問題であった。

九州産業大学芸術学部「ソーシャルデザイン学科 伊藤研究室」の教授である伊藤敬生さんが島民から相談を受け、昨年からの問題の解決に取り組んできた。

伊藤さんの専門はソーシャルデザイン。社会の課題をデザインによって解決することにある。

相談される以前から、伊藤さんは小値賀島について知っていた。かつて電通に勤めていたところに、潜伏キリシタン関連遺産を世界遺産に登録するために五島列島を訪れていたからだ。美しい海

や島民のあたたかさが心に刻まれていた。それ以降、何度も足を運んでいた島だった。

前日まできれいだった海が、ひとたび荒れると、大量の漂着物に覆われてしまう。そんな光景を現地で見ると、課題解決に向けて力になりたいと思いは強くなった。

廃棄物や不要になった製品を生まれ変わらせる「アップサイクル」によって、海洋プラスチックを「ごみ」からふたたび価値あるものに仕立てる。そこには伊藤さんのメッセージが込められている。

漂着した海洋プラスチックは、ペットボトルやさまざまな容器などで、「もともとは社会の役に立つものとして作られました。それが捨てられてしまい、ごみと認識されているだけです。それって、かわいそうだと思いますか」と伊藤さんは言う。

生まれ変わって、歓迎される形で島に帰ってきてほしい。「see you again」という意味を込めて取り組みを「SEA you again『プロジェクト』」と名付けた。はじめはキャックを製作しようと考



### 小値賀島

「遠くにあるが近くに見えるので近島」という由来もある。小さな島だからこそ、島民同士の助け合いや自然との共存が根付いている。物理的な距離が近いというだけでなく、初めて訪れた人にも、ほがらかで心理的な距離も近く感じられる。

### 島へのアクセス

佐世保からフェリーでおよそ3時間、高速船で1.5時間、福岡からのフェリーでおよそ5時間の船旅で到着します。







伊藤さん（前列中央）が来島するたびに常宿として利用している民泊宿弥三で記念撮影。宿泊客の中でもトップクラスの利用回数というから、島に対する思い入れがうかがえる。



子どもの頃に遊んだ砂浜の変わり果てた姿に心を痛め、白浜海岸で清掃活動を始めた江川春朝さん。

えたが、プラスチックを再利用すると、どうしても強度が落ちる。海で乗れるような舟艇をつくることができなかつた。食品をのせる皿やカップも案としてあったが、衛生面から除外された。石けんケースを思いついたのは、新型コロナウイルスの流行で、手を洗う機会が増えたことから。どこでも持ち運んで使えるようにと、ふたを付けた。素材となる海洋プラは「小値賀島産」。実は、丸みのあるケースのデザインも地元産である。手になじむ形にしようと決めていた。そして、伊藤さんが島の海岸を歩き、手に取っておさまりのいい石を見つけた。石は川を流れ、海岸では波に洗われ、角がなくなり丸みを帯びていく。ケースの自然な曲線も、漂着によって形づく

られているのだ。

ケースの製作は、プラスチックメーカー「テクノラボ」に依頼。中に入れる石けんは、北九州市に本社を置く「シャボン玉石けん」にした。無添加石けんのパイオニアである。

無添加石けん、海洋ごみを無くすことにちなみ、商品名は「mu（ムー）」と名付けた。海洋プラスチック「ごみ」という言葉を無くしたい。そんな思いも込められている。

「ごみ」というと厄介者のように思えてしましますが、本質的な問題は、捨てる人間の側にある。そこを通じて、そこに気づいてもらえれば」

製品化して終わりではない。ミクロな視点で見れば、製品化だけでよいのだろうが、社会的な課題としては、海洋プラスチックが無くならねば、根本的な解決にはならないからだ。

現在は、石けんケースに続き、海洋プラスチックを使った島のお土産となる、ブローチやマグネットづくりに取り組む。大好きな島のために、伊藤さんはデザインの力を駆使しつづける。

#### 小値賀島ビーチクリーンキット

漁業のさかんな島らしく、引退した船で使われていた大漁旗をバッグにリメイク。ひもには漁網を使用した。オリジナルロゴ入り軍手、生分解性プラスチックのごみ袋、ポストカードは環境に配慮した紙を使い、島の活版印刷所で印刷した。

#### mu

販売元：おちかアイランドツーリズム

原材料：海洋プラスチックごみ（小値賀島産）

海ごみ採集：りっばカンパニーズ、おちか白浜ビーチ団、

おちかアイランドツーリズム

製造（石けんケース）：株式会社テクノラボ

製造（石けん）：シャボン玉石けん株式会社





# 金賞

odd glove

宮田織物株式会社

Design : 澤田 久美子

片手5枚で1セット  
その日の気分で  
組み合わせは自在



受賞者のコメント

澤田 久美子さん  
宮田織物株式会社

生地織りの生産工程で残ってしまう残糸と呼ばれる糸。「使えるはずなのに、使いきれない糸」を活用し、株式会社イナバと共同開発した片手5枚で1セットの手袋です。残糸という不揃い感のある素材をどう反復生産可能なプロダクトに仕上げるかで頭を悩ませました。これから宮田織物の伝統をさらに築いていく為にも、「変わらない」ものづくりを大切にしながら、新しい挑戦のできる進化し続ける宮田織物でありたいと思っています。

残糸を活用した  
世界に1枚だけの手袋

odd glove は、デザインの異なる5枚の手袋を1セットとしたユニークな商品だ。筑後市で100年以上の歴史をもつ宮田織物では、数年前から生地織りの行程で必ず発生する「残糸」と呼ばれる使いきれない糸を活用した商品づくりを行っている。

残糸は、量や色が異なるため、反復生産には不向きだ。また、一般的な軍手の糸の約六分の一という細さのため繊細で扱いにくい。こうした課題に、地元企業の協力を仰ぎ、試行錯誤の結果、不揃いであることを活かした、個性のある「片手の手袋」というコンセプトが生まれた。資源を無駄なく使い、デザイン性を保ちながら新たな価値を生み出した点は素晴らしく高い評価となった。

odd glove は、手触りが良く伸縮性があり、手に優しくなじむ。この世界に1枚だけの手袋を、その日の気分で組み合わせ、長く楽しんでほしい。

odd glove  
¥990  
宮田織物株式会社  
<https://miyata-orimono.co.jp>

九州旅客鉄道株式会社  
古宮 洋二



# 金賞

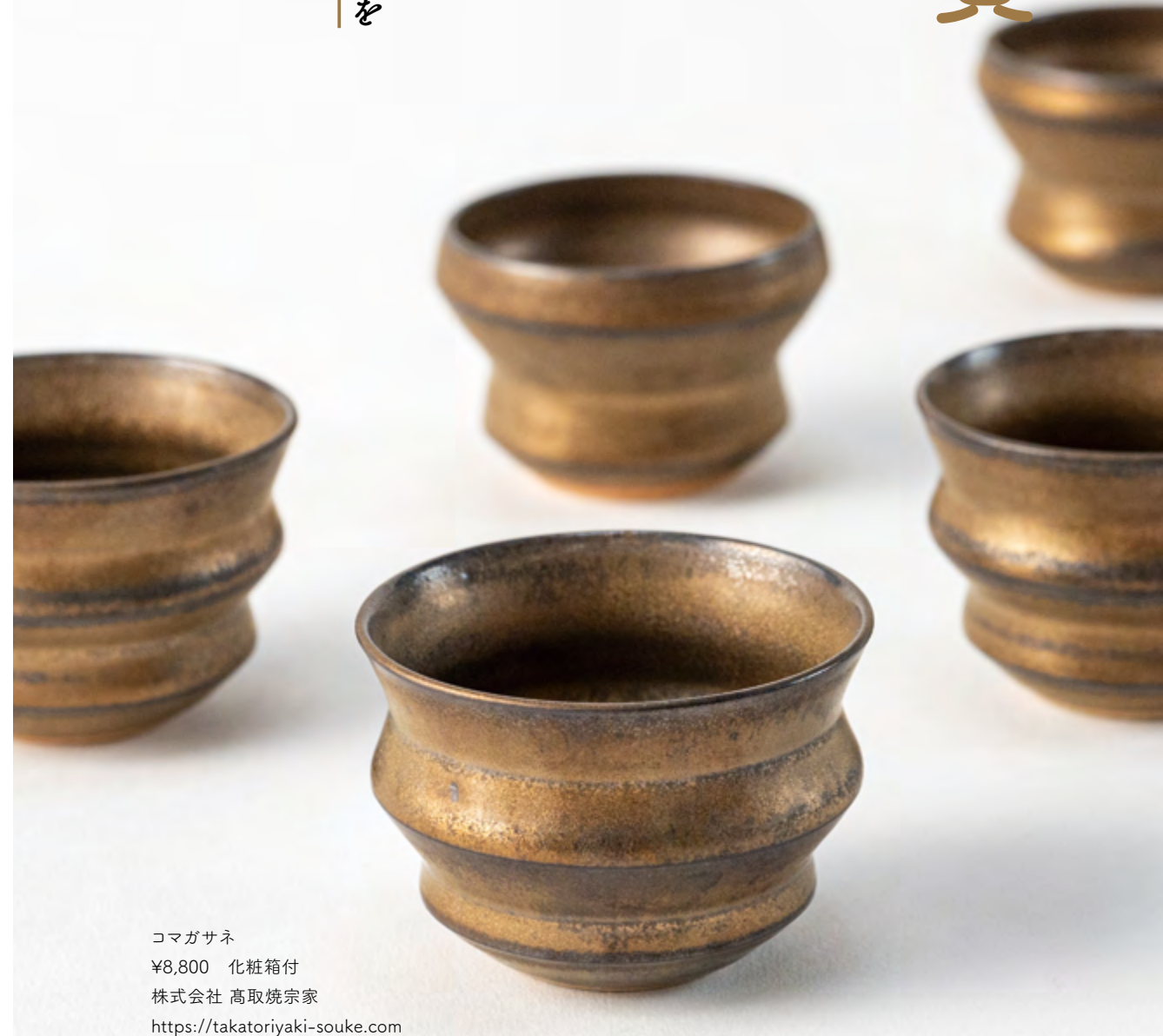
コマガサネ  
株式会社 高取焼宗家

Design : 高取 春慶

博多独楽の色を

釉薬で表現

収納性も抜群



コマガサネ  
¥8,800 化粧箱付  
株式会社 高取焼宗家  
<https://takatoriyaki-souke.com>

「伝統を超える革新性」に  
高取焼宗家が挑戦した一品

高取焼宗家は黒田藩御用窯として始まり、420年を超える長い歴史の中で「伝統を活かしつつ時代の動きをつかみ、変化する」DNAを育んできた。「人生を豊かにする」事において上質なお酒や食は欠かせない存在だ。特に器はそのすばらしさを引き立てる重要な舞台装置である。

高取氏は「おちよこの原点で博多の伝統工芸である独楽」×「現代人の価値観」から「コマガサネ」を生み出した。酒の肴や小料理、ソース等を入れるための器として利用できるコンパクトなサイズ感、金色の釉薬によって光の当たり方で表情を変える美しさは利用者を満足させるに違いない。

伝統に甘んずる事なく、<sup>いま</sup>現在を豊かにするために創意工夫する高取焼宗家のDNAに敬意を表したい。

株式会社岩田屋二越  
石松瑞樹



## 受賞者のコメント

高取 春慶さん  
株式会社 高取焼宗家

この「コマガサネ」を開発するにあたり、博多独楽の色合いである、赤、青、黄、緑、紫をいかに高取焼の釉薬で表現するか、非常に苦労しました。結果として『百光釉』という新しい釉薬の調合と、伝統技術とを合わせる新旧織り交ぜた表現となりました。予想してたよりもモダンな仕上がりとなり、この「コマガサネ」が現代と伝統を結びつけるきっかけとなると確信しました。今後は、茶陶高取焼の伝統を福岡をはじめ、日本全国へ、世界に向けても発信したいと思います。



# 金賞

## 燻製生海苔

株式会社やまひら 夜明茶屋

Design: 有限会社ウィロー 浅羽 八智代

### 滑らかな生海苔 燻製の香り 究極の佃煮に

#### 世界に向けて発信する スモーキーな海苔ペースト

江戸前鮓から気軽な回転寿司まで、世界中のフーディーを唸らせる寿司が我が国を代表する食文化であることを否定する人はおるまい。そして、寿司に欠かすことができないのが海苔だ。中でも有明海は日本一の海苔の産地として知られる。

さて、味も香りも一級の花苔は飛ぶように売れていくのだが、売り物にならない海苔はどうするか。海に返すと海が汚れてしまう。当地の生産者の家庭では昔から生海苔から佃煮をつくっていた。ある意味で究極の花苔佃煮だ。この商品はその稀少なレシピを受け継ぎ、更に燻製の香りづけをして世に出した。ご飯のお供だけでなく、ワインやスピリッツに合わせるおつまみとしての可能性を海外市場に問いたいからだ。

これまで世界の「黒い珍味」といえばキャビアが定番だったが、その一角に食い込む活躍を期待したい。

パッケージデザイン 内田一博



受賞者のコメント

金子 英典さん

株式会社やまひら 夜明茶屋



有明海の花苔を外国の方にもっと召し上がってほしい!燻製風味を出すことで、チーズやクラッカーと合わせて酒のつまみにも合うよう開発いたしました。このスモーキーな香りバランスが一番苦労致しました。

常温で日持ちもするので、日本一美味しい海苔の産地から、必ず海外に輸出したいですね。

燻製生海苔

¥864

株式会社やまひら 夜明茶屋

<http://www.mutugorou.co.jp>



# 金賞

otonari アプリ

株式会社 otonari

Design : 岩崎 温哉



商品をより身近に  
サンプル配布の  
「お会s」を演出

## 関わる人みんなよろこぶ 新しいしくみデザイン

ニッチではあるが多くの人にしあわせを提供できるアプリである。

商品の良さをわかってもらうためには実際に使って試せるサンプル配布は効果的だ。しかし、配布には多くのコストがかかってしまう。そういう悩みを抱えるメーカーにとって嬉しいサービスである。

一方でサンプル提供店にはこれまで接点が無かったお客さまとコミュニケーションが取れるといった「出会いの機会」を提供できており、地域を活性化させるインパクトが大きい。しかし、スマホを使いこなせない高齢者にとって、このような新しいサービスは敬遠されがちである。そこでユーザーインターフェースを工夫し、だれもが簡単にサンプル提供店を探せて、面倒な登録などすることなしにサンプルを入手できる点が高く評価された。サンプルを受け取る際に「にゃんっ♪」と鳴るところもかわいらしく親しみが感じられる。

西日本工業大学 中島浩二

## 受賞者のコメント

岩崎 温哉さん  
株式会社 otonari

開始当初、このサービスが福岡で受け入れてもらえるかどうか不安でした。しかし、ネットの広告に頼らず地域のお店を大切にするという風土が九州にはあり、そこに可能性を感じた全国の企業様から多くのサンプルをご提供いただきました。ITやアプリという言葉には、どこか機械的で人との繋がりを感ぜないイメージですが、このサービスを通して、加盟店とそのお客様に温かみを感じる繋がりを作り、今まで以上に地域を賑やかにしたいと思います。



otonari アプリ  
<https://otonari.love>



日本の縁起物の竹と高級無垢材ウォールナットを素材にした大分竹細工のブローチとバッグチャーム。曲線的で愛らしいシルエットの中に、竹編みの直線的な模様が上品な雰囲気を出し、大人が愛着を持てるアクセサリとなっている。

## 竹縁ブローチ・バッグチャーム

MODANIS

Design : 本多 修三



チャーム ¥3,850 / 1個    ブローチ ¥3,520 / 1個  
<https://www.modanis.jp>

株式会社九州博報堂  
山田彰

またパッケージは桐箱を使用し、インバンド市場を見据えた和洋折衷のデザインに仕上がっている。「身につける伝統工芸品」という新たなファッションアイテムとして可能性を感じた。



# 銀賞



福岡県嘉麻市にある「かほラーメン」ギルトフリーとはおよそ無縁そうな豚骨ラーメンを提供するこのお店が、野菜党と称して自身の武器である動物性を使わずに麺、スープ、果ては冷凍技術までも自社で開発したというから驚きである。

## 野菜党ラーメン Vegedle

有限会社フードレスト

Design : 有限会社ゼムケンサービス  
上野 暢子



¥864 / 1袋 (全4種類) <http://foodest-inc.jp>

この商品はレンジで温めるだけのお店で提供されているままの野菜マッシュで食べ応えも抜群な「余すこと無い野菜の全て」が味わえる。今後この情熱がどこへ向かうのかに興味がない。

株式会社ハズ博多店  
後藤 大輔





## ラムネ工場・恋のぼりラムネ

### ラムネの涙プロジェクト

Design : HOMEBASE 伊藤 敬生  
ウイロー 浅羽 八智代  
ダイスプロジェクト 佐藤 瞳

ラムネ工場  
¥3,300 / 1セット



恋のぼりラムネ  
¥300 / 1本

ラムネは、日本で初めて製造された清涼飲料水。不思議なフォルムのラムネ瓶が英国から輸入されて135年余、産学の英知とデザイン力から生まれた「ラムネ工場」は、業界初のキット(シロップ・炭酸水・ラムネ瓶)商品。また「恋のぼりラムネ」

は、2020年7月の豪雨災害で苦境に立つ杖立温泉の復興を願い、杖立橋のかたわらにある「恋地蔵尊」と杖立川をまわいで泳ぐ「鯉」のぼりにあやかったチャーミングな絵柄で限定販売された。息の長い復興支援になることを期待する。

株式会社リトルストロークス 久保紀子

## 段ボール製ワイシャツハンガー

### 大国段ボール工業株式会社/株式会社アルサ

Design : 寺澤 一光



¥40 / 1枚  
<http://daikoku-cci.co.jp>

プラスチック廃棄物の削減が求められる昨今、クリーニング業界のプラスチックハンガーも回収やリユースが積極的に進められている。そんな中、根本的に素材を見直した業界初となる本商品が開発された。強度の出し方や既存の機械で運用で

きる仕様などいくつかの課題を乗り越えて結実した。今後はワイシャツ用以外にも開発していきたい、との話。課題と向き合う姿勢を応援するとともに、環境に優しいプロダクトの今後の展開に期待したい。

一般社団法人 Design-DESIGN MUSEUM  
廣嶋 まさ

## 万能ですよ。

### ファーストアズール株式会社

Design : 武 陽子



¥890 / 1瓶  
<http://sakurazaka-azul.com>

醤油をつくる際にどうしても出てしまう廃棄物を再利用したというフードロスゼロへのチャレンジ精神が銀賞に選ばれた大きなポイントである。また、出品された他の魅力的な商品の中でも優れていた、思わず手に取りたくなるような気にな

るデザインをはじめ、一度は試したいと思ってしまう味への興味、売れそうだなと思わせる価格、それらを証明して見せた「初回販売時に数分で完売」という実績。全てがこの賞にふさわしい。

株式会社電通九州 永野弥生

## ぺんむすび

### 株式会社SING

Design : 九州大学 杉本研究室  
高橋 咲良、井上 奈々



¥880  
<https://sing-silicone.com>

高校生と大学生が主体となり、アンケート調査や観察調査を実施。学生が本当に欲しいものを考え追求した結果生まれた商品である。シリコン素材はペンが抜けにくく、使用感、触り心地ともに良い。文房具として開発されたものだが、それ

だけにとどまらず様々な用途で利用でき、利用者の喜ぶ顔がイメージできたことも評価のポイントとなった。「名は体を表す」の通り、ネーミングとデザインも丁寧に表現できているアイデアあふれる商品である。

日本グラフィックデザイン協会福岡地区  
永野 研太



## 野点の極

原田織物株式会社

Design : 白 shiro  
西 道郎



¥55,000

<http://harada-orimono.com>

キャンプの流行で自然を楽しむ機会が増えた。さまざまなグッズが注目される中「野点の文化を現代的に楽しんでもらいたい」という織物会社の社長の思いから生まれたのが『野点の極』だ。

博多織や小石原焼、八女茶

といった地元こだわったセットは、本格的な野点を気軽に楽しむという新たな価値観を提案している。場所を選ばず、一時の癒しを提供してくれるだろう。持ち運び方法にさらなる工夫を期待したい。

九州旅客鉄道株式会社 古宮洋一

## MATILDA TABLE

ヤリヤ家具店

Design : 釜屋 大輔



¥55,000

<http://yariya-kaguten.com>

「旅する家具」をコンセプトに誕生したマチルダテーブルは、造詣が美しい。厳選されたオークの無垢材を削り出し、手触りがとにかく滑らか。また、天板を折り畳む際にカチッと閉まる感触は、高級乗用車のドア開閉を彷彿とさせる。

それもそのはず、製作者はオーダー家具の専門店で、その技術を惜しげもなく注ぎ込んだのがこのテーブルだ。上質なアウトドアギアであるが、陽ざし温かな休日のリビングなど、ウチで使っても楽しいはず。

バンネマーケティング株式会社 内田一博

## 視力や色覚が弱い人も見やすいカレンダー

NPO法人 FUKUOKAデザインリーグ

Design : 中牟田 麻弥、計盛 政利

¥2,000

<https://www.f-design.gr.jp>



視力の弱い方が読み取りやすい黒地に白文字面と、色覚に制限のある方もそうでない方も季節の移り変わりを月毎の色で感じられるように配慮された全面カラー面からなるリバーシブルカレンダー。2色覚の方からのヒアリングも交えた様々

な検証を行い、機能性とデザインを両立させている。光の当たりづらい分野にデザインの力が活かされた好事例であり、これからの社会でより求められていくアプローチであることも評価された。

大宰府天満宮 西高辻信宏

## Tree & Maestro プロジェクト

一般社団法人緑の機能性研究所

Design : LOCAL & DESIGN 株式会社

高山 美佳

ギンバイカ精油5ml ¥2,970(ほか13種類)

マスクスプレー ¥1,100

ハンドソープボトル ¥1,100

<https://www.gflabo.or.jp>



江戸時代から続く緑化木産業の地、筑後・筑前地域で、樹木のことを知り尽くした植木生産者が原料生産から蒸留・抽出した国産精油を使ったアロマ商品だ。木々に様々な香りの花が咲き生物が集うデザインは、実や枝から木々を育て

る生産者の物語を感じられる。本商品は、植物の機能性を生かした香りビジネスを創出した地域産業活性に貢献しており、二酸化炭素の削減・剪定枝の活用など、持続可能な社会の実現を目指す取り組みとしても高く評価された。

株式会社マクアケ 宮田紗良



## 社会課題に アプローチする デザインの挑戦

今年、大賞を受賞した「mu」を始め、社会課題に目を向けたデザインが際立っていた。色やかたちを駆使してモノやコトに魅力的な外観を与え、機能性を高めて豊かな生活とビジネスに貢献するというデザインの基本的な役割は今も昔も変わらない。しかし、今回の受賞商品の数々が示したのは、モノやコトだけでなく、それらを機能させる仕組みを含め、デザインにはもっとできることがあるという可能性だった。

特に環境問題はすでに待ったなしの状況で、サステイナビリティへの配慮はあらゆるデザインの前提となっている。こうした背景のなか、廃棄物のアップサイクルや、利便性の追求などの価値観の転換、さらに日本の風土に合った商品をつくり・つかう文化の醸成など、多様なアプローチが提案されていた。



思わず手に取りたくなるような形の石けんケース「mu」。ごみが“無”くなるようにとの想いで名づけられた商品。小値賀島に流れ着いた海洋プラスチックから蘇る。

大賞に輝いた長崎県小値賀島に流れてく海洋プラスチックごみをアップサイクルした石けんケース「mu」や、金賞を受賞した久留米餅を織る際に残る残糸でつくったペアにならない不揃いな手袋「odd glove」は、廃棄されるはずの原料の偶然性を逆手にとって魅力に変えた見事な価値転換のデザインだ。

金賞の「コマガサネ」や銀賞を受賞した「MATILDA TABLE」「野点の極」などのデザインは、地域文化に根ざした伝統工芸や長く受け継がれてきた確かな技術を活かし、現代の文脈のなかで新しいライフスタイルを提案した。ま

た、金賞の「燻製生海苔」や銀賞の「野菜党ラーメン」は地道な工夫によって日常食に新たな価値をもたらした。歴史を重ね、人々の知恵や経験を受け継ぎながら、伝統を読み替え、新たな価値を編み上げていくデザインこそが、地に足のついたサステイナブルな文化を未来に繋いでいける。

一方、新しい技術を社会や人々の生活に近づけ、だれもが豊かに暮らせる未来を実現するためにデザインが貢献できることは多い。デジタル技術によって人と人、人とモノをつなげる新たな仕組みを提示し、金賞を受賞した「otonari

アプリ」は、あらゆるステークホルダーにメリットをもたらす「三方よし」を実現するサービスのデザインで、人によりそった優れたインターフェースデザインが評価された。

すでにあるモノや資源、伝統の技術を活用しながら新たな価値を創出するデザイン、最新の技術を人々の生活のなかに定着させるデザイン。一見、逆方向のデザインだが、社会に目を向けたとき、こうした歴史性と現代性をブレンドしながら、しなやかに私たちの未来に貢献するデザインがこれからは求められるだろう。



上\_不揃いならではの楽しみ方を提案「odd glove」中\_縁起の良い独楽のようなおちょこ「コマガサネ」下\_ひと手間加えた海苔を世界に発信「燻製生海苔」



九州大学大学院芸術工学研究院准教授  
池田 美奈子





福岡デザインアワードは、  
デザインビジネスを通して  
地域の未来を明るくする  
ビジネスプラットフォームを目指しています。

左\_受賞企業15社全員で記念撮影。大賞50万円、金賞5万円、銀賞1万円の賞金が贈呈された。 右\_会場では最終審査のほか、出品者やバイヤー、消費者といったあらゆる人たちの交流やメディアによる取材が行われた。

最終審査会では、有識者、デザイナー、流通関係者など様々な分野から計13名の審査委員が選ばれ、5つの審査基準をもとに出品者へ直接ヒアリングが行われます。ヒアリングの内容は審査委員で共有され、慎重な検討の上、受賞商品が決定されます。様々な分野の専門家の視点やアドバイスは、今後の商品のブラッシュアップに繋げることができるとでしょう。



Step3  
デザインを  
表舞台に。

県では、コロナ禍における販路拡大支援として、今年度はウェブ上のイベントハブのプラットフォームを活用したウェブ商談会を実施します。大賞及び金賞の企業に対しては、別途、ウェブ商談で活用できる動画の制作を行います。また、審査委員の講評や大賞商品の制作秘話などを掲載した本受賞商品集を作成、今後の販路拡大の営業ツールとして活用いただけます。



Step4  
デザインビジネスを  
発展させる。

出品することに意味があります。一次審査に提出するエントリーシートには、審査項目があり、商品の魅力やさらに検討しながら客観的に作成することができます。また、エントリーシートはバイヤーにとっても、商品の魅力を知る重要な資料として活用されるため、出品することは、販路拡大の第一歩となるでしょう。踏み出すだけで、ビジネスチャンスが生まれています。



Step1  
デザインビジネスへ  
踏み出す

一次審査を通過したノミネート商品50点は、会場でお披露目となり、最終審査会が行われます。福岡県が主体となりプレスリリースなどで広く発信するほか、今年度は受賞商品の紹介動画撮影を行い、文章や写真だけでは伝わらない魅力をデザインアワードホームページに掲載しました。また、県庁11階では11月〜12月にかけて展示会を開催、来庁者へもPRを行いました。



Step2  
デザインの  
価値を高める。





# ものづくりに デザインの力を。

福岡デザインアワードは、優れたデザインを評価、発信するコンペティションです。今回で24回目を迎え、これまでに延べ2973件の応募の中から700件を超える商品を表彰してまいりました。このほか、商品開発支援としてデザイン開発ワークショップや、販路拡大のためのマーケティングセミナー、商談会や販売会など、商品開発から販売までの支援にも取り組んでいます。

デザインは、色や形で商品の魅力を高めるだけではありません。消費者のニーズを満たし、社会の課題を解決するため、想いを定めてアイデアを出し、目的に向けて工夫するなど、課題解決のための思考活動もデザインと言われる

ています。

急速に進むデジタル化や脱炭素化への対応、新型コロナのパンデミック、世界的な物価高騰など、中小企業を取り巻く環境は大きく変化しています。皆さまがこのような変化に対応し、ビジネスを継続・発展していくためにデザインの力が今まで以上に重要です。

福岡県はデザインを学ぶ環境が充実しており、多数のデザイナーが活躍している全国有数のデザイン集積地です。この強みを活かして、皆さまにはこれからもデザインを活用したものづくりにチャレンジしていただき、大きなビジネスチャンスを手に入れていただくことを心から願っています。

昨今の厳しい経済環境にもかかわらず、本年も福岡デザインアワードに全国98社から120件の応募をいただきました。応募いただきました企業の皆さまに改めて感謝申し上げます。

福岡デザインアワードは、全国の優れたデザインを発表する場です。また、異業種交流といった他分野との出会いや、学び合う場という役割もあります。一次審査を通過すると、ノミネート商品が一堂に会する最終審査会（表彰式）に参加できます。そこでは、有識者からのアドバイスはもとより、他の企業やデザイナー、バイヤーとの交流によって、視野や知識、販売チャンスを大きく広げることができるでしょう。このよ

うな挑戦の場は、新たなビジネスチャンスに発展する可能性があり、次のステップに進むためのモチベーションにつながるものと信じています。

福岡県産業デザイン協議会は、産業界、デザイナー、行政等が緊密に連携し、デザインを活用した商品企画・開発の促進やデザイン性に優れた商品の販路開拓の推進に取り組み、地域の発展に貢献しています。

今後ともこれまで歩んできた実績を糧に社会課題を解決していくデザイン思考を多くの人と共有し、デザインを社会へ開いていく活動に取り組んでまいりますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# デザインの力を ビジネスの力に。



古宮 洋二 福岡県産業デザイン協議会 会長  
(九州旅客鉄道株式会社 代表取締役社長執行役員)



福岡県知事 服部 誠太郎





第20回 2018  
一日20gの食習慣「西利乳酸菌ラブレ」  
京つけもの西利

乳酸菌を使用した野菜の漬物。1週間分がワンバックになったデザイン、企画性、価格努力など、商品開発力が評価された。  
応募件数 130件 (122社)



第16回 2014  
ぐっ波斯  
独楽工房 隈本木工所

筆記姿勢をよくする教習具。県産材を用い高い技術と人間工学に基づいたデザインによって福岡発の思いやり商品として結実させた。  
応募件数 189件 (155社)



第12回 2010  
デザイナーズ防犯カメラ [PF-JT111]  
株式会社日本防犯システム

ブランドショップなど多様な設置環境との調和を考慮した“み(見・魅)せる”防犯カメラ。最新技術と造形力が統合されたデザイン。  
応募件数 139件 (117社)



第8回 2006  
八女手漉き和紙 プリーツ加工紙  
松尾和紙工房

半立体のプリーツ加工を施した八女手漉き和紙。平面表現に特化した和紙のあり方を一変させ、多様な生活シーンを創り出す。  
応募件数 112件 (87社)



第4回 2002  
該当なし  
応募件数 91件 (74社)



第21回 2019  
monaca stool シリーズ  
株式会社 酒見椅子店

和菓子の「最中」をモチーフに、日本古来の六花の華やぎを纏わせたスツール。令和に相応しい花の心をカタチにしたトータルデザイン。  
応募件数 157件 (145社)



第17回 2015  
アイスリットテーブルディスペンサー  
福岡丸本株式会社

微細加工技術を用い、金属刃による課題を解決したテーブルディスペンサー。デザインや、産学連携の実証実験、社会への新たな提案力。  
応募件数 165件 (145社)



第13回 2011  
ヘアケアビューアーション「椿なの」、  
「なのりべア」株式会社オラテック

界面活性剤を使用しない防腐剤無添加のヘアケアビューアーション。“ひとにやさしい”デザインが評価された。  
応募件数 162件 (136社)



第9回 2007  
小倉織 縞縞 SHIMA-SHIMA  
有限会社小倉クリエーション

途絶えた小倉織を復活させ、機械織により広幅化を実現した風呂敷。現代的な縞柄デザインを取り入れたクオリティの高い商品。  
応募件数 100件 (79社)



第5回 2003  
あんしんなタオル  
宮原タオル株式会社

化学薬品を使わない、赤ちゃんからお年寄りまで安心して使えるタオル。商品説明も読みやすく処理された一貫したデザイン。  
応募件数 80件 (62社)



第1回 1999  
フロートパッキング  
株式会社コンドー・マシナリー

電子機器等の品物を発送する際の衝撃から守るために開発された梱包材。エコな素材、簡単で無駄のないデザイン。  
応募件数 94件 (61社)



第22回 2020  
該当なし  
※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止



第18回 2016  
博多水引ボトルリボン  
有限会社ながさわ結納店

ワインボトルを華やかに飾る博多の伝統工芸「博多水引」のボトルリボン。伝統工芸の美しさと使い勝手のよさを融合させた卓越したデザイン。  
応募件数 150件 (127社)



第14回 2012  
柳川まめマヨ  
柳川農業協同組合

柳川産大豆フコクタカの豆乳を原料としたマヨネーズ風ドレッシング。商材の魅力を伝えるネーミングやパッケージ、地域ビジネスの可能性。  
応募件数 174件 (139社)



第10回 2008  
TONBY  
紙飛行機デザイン工房

世界初、折り紙の特殊効果用紙飛行機。単純な構造ながら安定した滑空を実現。大空に飛ばせるイベントツールとしての可能性がある。  
応募件数 132件 (106社)



第6回 2004  
DAIDABO  
東木工株式会社

木製板材と箱で構成されたユニットによる組み合わせ収納家具。ライフスタイルに合わせて、使い勝手が工夫できる新しい型の家具提案。  
応募件数 102件 (63社)



第2回 2000  
快步主義 KHS L002  
株式会社アサヒコーポレーション

歩く楽しさ、快適さを追求して開発された高齢者向けの靴。機能性と造形性のバランスがとれたデザイン。  
応募件数 108件 (90社)



第23回 2021  
Titanium Spoon series  
有限会社リナシメタリ

チタンの優れた特性を活かし、航空機や自動車向けの最新加工技術と匠の手による研磨仕上げによって、チタンの難加工性を克服している。  
応募件数 123件 (111社)



第19回 2017  
廃校活用事業「いしかね Palette」  
株式会社 BOOK

廃校を活用し持続的施設運営を可能にした地方創生プロジェクト。多彩に成長するビジネスモデルが評価された。  
応募件数 147件 (132社)



第15回 2013  
Archi skin  
株式会社マイサ

「建物を覆う皮膜」をコンセプトにアルミ製パネルで作られた建築資材。技術面や機能性、新しいビジネスの可能性を広げ、波及効果が大きい。  
応募件数 145件 (124社)



第11回 2009  
緑茶維新シリーズ T/BAG、  
T/POWDER 株式会社つじり

国産厳選茶葉の美味しさを手頃な価格で簡単に飲めるティーバックとティーパウダー。美味しいお茶を飲む感動というメッセージが明解。  
応募件数 152件 (123社)



第7回 2005  
ecopo  
田川産業株式会社

漆喰土壁の特性を活かした焼かない植木鉢の手作りキット。実体験型の学習効果や植木鉢を作る喜びを表現したデザイン。  
応募件数 100件 (67社)



第3回 2001  
Life-D  
大川ライフデザイン研究所

11社の大川家具メーカーと福岡のデザイナー・建築家の異分野協働で生まれた家具。日本人の暮らしに寄り添った人にやさしい造形性。  
応募件数 65件 (57社)





主催 福岡県産業デザイン協議会・福岡県

協賛 九州旅客鉄道株式会社、九州電力株式会社、株式会社九電工、西部ガスホールディングス株式会社、TOTO株式会社、株式会社西日本シティ銀行、西日本鉄道株式会社、株式会社福岡銀行、福岡地所株式会社、株式会社安川電機（順不同）

後援 九州旅客鉄道株式会社、西日本鉄道株式会社、RKB毎日放送、NHK福岡放送局、FBS福岡放送、九州朝日放送、TNCテレビ西日本、テレQ、朝日新聞社、一般社団法人共同通信福岡支社、産経新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、株式会社井筒屋、株式会社岩田屋三越、株式会社ハンズ、麻生建築&デザイン専門学校、九州産業大学、九州大学、専門学校日本デザイナー学院九州校、西日本工業大学、福岡デザイン専門学校、一般社団法人九州アートディレクターズクラブ、一般社団法人日本空間デザイン協会、北九州総合デザイナー協会、公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会、公益社団法人日本インテリアデザイナー協会、公益社団法人日本グラフィックデザイン協会（JAGDA）、公益社団法人日本サインデザイン協会、公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会、公益社団法人日本パッケージデザイン協会、一般社団法人九州北部信用金庫協会、一般社団法人福岡県中小企業家同友会、公益財団法人福岡県中小企業振興センター、ジェトロ福岡、福岡県商工会議所連合会、福岡県商工会連合会、福岡県中小企業団体中央会、北九州地域中小企業支援協議会、筑後地域中小企業支援協議会、筑豊地域中小企業支援協議会、福岡地域中小企業支援協議会（順不同）

応募資格 日本国内に事業所等をおく、中小企業者又は小規模企業者等

応募対象 日本国内において製造または販売する商品・サービス等のうち、次の要件を満たしているもの。

- ①反復生産が可能なもの（部品を含む）
- ②概ね5年以内に開発されたもの
- ③現在販売中または今年度販売予定のもの

- 応募区分
- A 衣料・アクセサリ／衣服、バッグ、時計、貴金属など、身につけて使用するもの
  - B 食品／食材や製法にこだわった飲食に関するもの
  - C 健康・美容・福祉用品／健康グッズ、化粧品、医薬品、介護用品など身体に働きかけるもの
  - D 生活雑貨・生活用品／生活用品、文具、玩具など、主に手に取って使用するもの
  - E 家具・インテリア／家具、畳など置いて使用するもの、照明、カーテンなど空間を構成するもの
  - F 産業・商業・公共空間機器／OA機器、医療設備など事業活動や公共空間において使用するもの
  - G 情報・サービス／ソフトウェア、デジタルコンテンツなどサービスを提供するもの
  - H イベント・地域ビジネス／スポーツイベント、地域行事・催事に関するもの

会期 2022年11月4日（金） 9:30-11:30 公開審査／13:00-16:00 ノミネート商品展示会／15:00-16:00 授賞式  
会場 福岡県庁（福岡市博多区東公園7-7）

審査委員

審査委員長	池田 美奈子	九州大学大学院芸術工学研究院 准教授
副審査委員長	廣嶋 まい	一般社団法人 Design-DESIGN MUSEUM 理事
審査委員	石松 瑞樹	株式会社岩田屋三越 マーチャンダイザー
	内田 一博	iBank マーケティング株式会社 代表取締役副社長 兼 株式会社 TAP 代表取締役
	久保 紀子	株式会社リトルストロークス 代表取締役
	後藤 大輔	株式会社ハンズ博多店 グループリーダー
	中島 浩二	西日本工業大学デザイン学部情報デザイン学科 教授
	永野 研太	公益社団法人日本グラフィックデザイン協会福岡地区 代表幹事
	永野 弥生	株式会社電通九州 シニアクリエイティブディレクター
	西高辻 信宏	太宰府天満宮 宮司
	古宮 洋二	九州旅客鉄道株式会社 代表取締役社長執行役員
	宮田 紗良	株式会社マクアケ 九州拠点責任者
	山田 彰	株式会社九州博報堂 エグゼクティブディレクター

福岡県産業デザイン協議会

設立 平成9年11月13日

産業界、デザイナー、行政等が緊密に連携して、デザインを活用した商品企画・開発の促進と、デザイン性に優れた商品の販路開拓を推進することにより、福岡県における産業デザインを振興し、もって福岡県経済の発展に寄与することを目的とする。

会員数 212 団体・個人（2022年3月末現在）

会長 古宮 洋二 九州旅客鉄道株式会社 代表取締役社長執行役員

副会長 西高辻 信宏 太宰府天満宮 宮司

永野 研太 公益社団法人日本グラフィックデザイン協会（JAGDA）福岡地区代表幹事

事務局 福岡県 商工部 新事業支援課

〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7-7

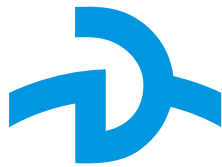
Tel. 092-643-3449 Fax. 092-643-3226

E-mail: design-2@fida.jp URL: https://award.fida.jp

福岡デザインアワード 2022 受賞商品集

編集・デザイン・撮影：村上 智一 (IN THE FIELD) 取材・文：若岡 拓也 (IN THE FIELD) 撮影：平川 雄一朗、いっわいあや





**FUKUOKA DESIGN AWARD**